



CSたより

17号

コミュニティ・スクール

11月になりました。気候もめっきりと肌寒くなり、秋もずいぶんと深まってきたなと感じさせられます。家から見える山々に目をやると、赤、黄の色が心に入り込んできます。深まりつつある秋の色合いとともにこの11月も子供たちの元気とともに学習活動を進めていきたいものだと思います。

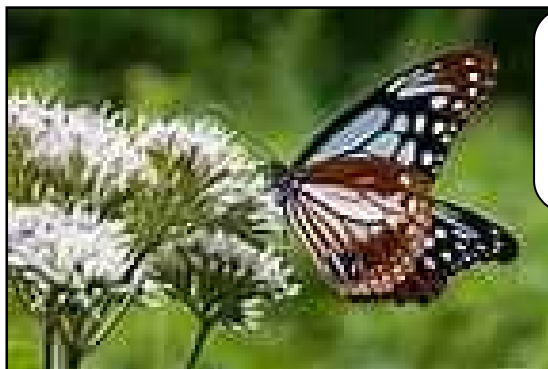
ふるさと科

- 9月26日(金)に、あさひ野小学校の2年生が町児童館を訪れました。広報6月号にも掲載されたダンボール遊具づくり名人の児童館職員、五十嵐昭人さんから、ご自身がダンボールで作られた遊具のお話を聞いたり、それらを使った楽しい遊びを体験しました。



- 10月1日(水)に、あさひ野小学校の3年生が夢創塾で「アサギマダラ」という蝶の観察と蝶の羽へのマーキングを行いました。このマーキングによって蝶の生態を調査することができます。「アサギマダラ」は、羽の模様があざやかな大型の蝶で、長距離(1,000 ~ 2,000 km)移動をします。このアサギマダラは、フジバカマという植物に集まる特性をもっていて、そのフジバカマが自生している蛭谷地区を、飛行の立ち寄りどころとしているそうです。子供たちは、アサギマダラの美しさと、不思議な生態に大喜びでした。

この学習には、長崎喜一さん(夢創塾 塾長)、藤條好夫さん(アサギマダラ調査グループ)、水野瑠美子さん(地域学校協働活動推進員)にお世話をしていただきました。



アサギマダラの特徴やこれから学ぶ学習作業について説明を受けました。



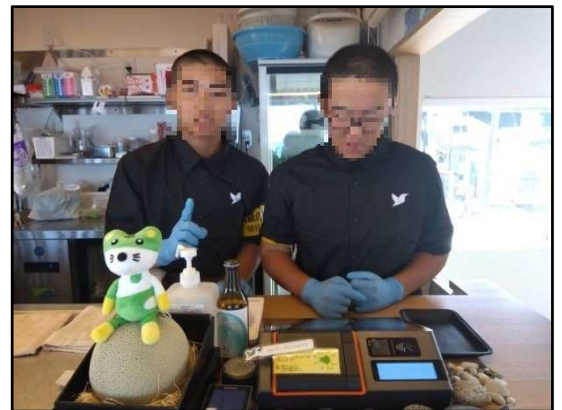
- 朝日中学校2年生は、1学期に金沢市内の各企業（生徒の希望にそって企業に了解を得て実施）で、「企業の特徴」、「働くということの意味」、「やりがい」について班別学習しました。

9月30日(火)～10月3日(金)には、朝日町内25ヶ所の各事業所のご協力を得て、「社会で学ぶ『14歳の挑戦』」が実施されました。各事業所には、71名の子供たちを受け入れていただき、働くということについて指導していただきました。町内には、たくさんの企業がありそれぞれで懸命に働く大人の姿にも触れ、よい勉強となりました。その中から、今年度から新たに指導してくださった事業所を紹介します。

PBS株式会社

PBS株式会社では、朝日町のきれいな地下水を活用して、メロンやレタスの水耕栽培をしています。これらは、施設内でLEDを活用した水耕栽培装置によって管理され、年間を通して出荷されているそうです。15日(水)には、あさひ野小学校の2年生がメロンづくりの様子を見学しました。

PBS株式会社は宮崎のヒスイ海岸観光交流施設「ヒスイテラス」内でカフェを開いています。そこでは、栽培しているメロンをお客さんに提供しています。子供たちは、4日間、そこで体験させていただきました。



入善警察署



警察の仕事については、小学校の中学年で簡単に学びますが、「14歳の挑戦」では、事件、事故への対応や、事件、事故を起こさせないための仕事について学びました。その他、地域の防犯教室にも参加しました。



自転車の鍵点検を行いました。自転車の盗難防止には、鍵かけの点検は大切な仕事です。もし、自転車が盗難されると、その対応に何倍も労力が費やされます。住民の財産を守るために警察官は、普段見えないところにも目を届かせていることが分かりました。

その他の受け入れ事業所の方々からの声

- 中学生ならではの発想があったり、慣れた手つきでささっとICT（タブレット）を使ってインターネット検索したり、自分たちとは違った視点で「目からうろこ」な意見をもらうことができました。はきはきとして、自分の意見をしっかりとった生徒で、こちらもすばらしい体験をさせていただきました。
- 3人の生徒を受け入れしましたが、3人が意見を出し合い、工夫し、協力して作業する姿がみられ、うれしい気持ちになりました。将来どんな仕事に就くかわかりませんが、頑張ってもらいたいと思いました。